



**エネコートテクノロジーズ、総額約15億9,000万円のシリーズBラウンド資金調達を実施
～「身の回りから宇宙まで」どこでも発電可能な未来の実現を目指す～**

株式会社エネコートテクノロジーズ（本社：京都市上京区、代表取締役：加藤 尚哉）はこのたびスパークス・アセット・マネジメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿部 修平）が運営する「未来創生3号ファンド」をリードインベスターとして、合計18社より総額約15億9,000万円の第三者割当増資を実施し、シリーズBラウンドの資金調達を実施致しましたので、お知らせいたします。

これによりエネコートテクノロジーズの資金調達額は累計で約20億円となりました。なお、シリーズBについては引き続き数社との交渉を行っており、追加調達が発生する可能性があります。

【シリーズB 資金調達引受先】

未来創生3号ファンド（※1）	運営会社：スパークス・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長：阿部 修平
イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合(KYOTO-iCAP1 号ファンド)	運営会社：京都大学イノベーションキャピタル株式会社 （※2） 代表取締役：楠美 公
KDDI Green Partners Fund（※3）	KDDI 株式会社 代表取締役社長：高橋 誠 運営会社：SBI インベストメント株式会社 代表取締役執行役員会長 兼 社長：北尾 吉孝
Nikon-SBI Innovation Fund	株式会社ニコン 代表取締役 兼 社長執行役員：馬立 稔和 運営会社：SBI インベストメント株式会社 代表取締役執行役員会長 兼 社長：北尾 吉孝
ホシデン株式会社	代表取締役社長：古橋 健士
SMBC ベンチャーキャピタル 6 号投資事業有限責任組合	運営会社：SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長：落合 昭
株式会社エフ・シー・シー	代表取締役社長：斎藤 善敬
MMC イノベーション投資事業有限責任組合（※4）	運営会社：JMTC キャピタル合同会社 代表社員：日本材料技研株式会社 代表取締役社長：浦田 興優
関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合	運営会社：池田泉州キャピタル株式会社 代表取締役：平松 勝己

京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合	運営会社：京銀リース・キャピタル株式会社 代表取締役：竹中 伸一
日本ガイシ株式会社	代表取締役社長：小林 茂
三菱UFJキャピタル8号投資事業有限責任組合	運営会社：三菱UFJキャピタル株式会社 代表取締役社長：坂本 信介
Monozukuri 2号投資事業有限責任組合	運営会社：株式会社 Monozukuri Ventures (※5) 代表取締役：牧野 成将
ロボットものづくりスタートアップ支援投資事業有限責任組合	運営会社：フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長：松本 直人
京信イノベーションC2号投資事業有限責任組合	運営会社：株式会社京信ソーシャルキャピタル 代表取締役：国本 丈弘 運営会社：フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長：松本 直人
中信ベンチャー・投資ファンド6号投資事業有限責任組合	運営会社：中信ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長：安川 淳史
その他2社	

(※1) 「未来創生(1号)ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生(1号)ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2022年2月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,316億円となっています。

(※2) 京都大学イノベーションキャピタル株式会社の概要

京都大学100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016年1月に京都大学と民間企業からの出資を受け、ファンド規模160億円のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成しました。

(※3) KDDI Green Partners Fundの概要

KDDI Green Partners Fundは、2021年11月に、KDDI株式会社とSBIインベストメント株式会社が共同で設立したコーポレートベンチャーキャピタルです。脱炭素社会の実現に向け、環境課題に取り組むスタートアップ企業を出資対象としています。

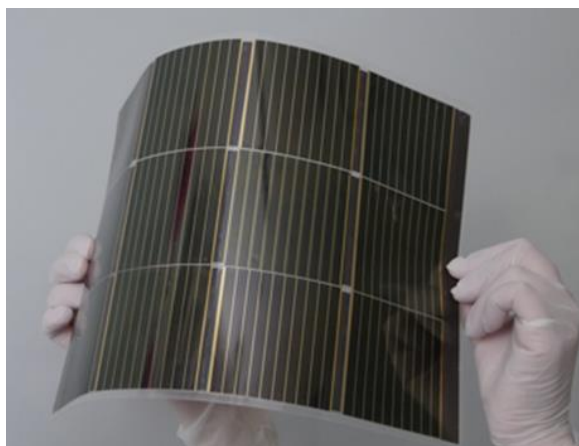
(※4) MMC イノベーション投資事業有限責任組合の概要

2019年3月1日に三菱マテリアル株式会社と、日本材料技研株式会社の100%子会社であるJMTCキャピタル合同会社が共同で設立した、材料技術を有するベンチャー企業を投資対象とするコーポレート・ベンチャーキャピタルです。

(※5) 株式会社 Monozukuri Ventures (略称：MZV)の概要

京都とニューヨークを拠点に、ハードテック・スタートアップへのベンチャー投資ファンドの運営とハードウェアの試作・製造に関する技術コンサルティングを提供する企業です。

2020年1月に、Makers Boot Campを運営する株式会社 Darma Tech Labs(京都市)と、FabFoundry,Inc.(ニューヨーク市)が、2社のハードテック・スタートアップ支援の経営資源を結集して発足しました。MZVが運営するMBC試作ファンドは2017年夏に1号ファンドが、2021年に2号ファンドが発足しました。これまでに日米のハードテック・スタートアップ49社(日本22社、米国27社)に投資しています。また、試作から量産に至るまでの知見とネットワークを活かし、これまでに150件以上の技術コンサルティングを提供しています。



エネコートは、京都大学化学研究所若宮淳志研究室の研究成果を実用化するために2018年に設立された京都大学発スタートアップであり、①低照度向け高効率太陽電池を用いたデバイスによるIoT化促進への貢献、②高照度向け軽量薄膜太陽電池によるカーボンニュートラル社会実現への貢献をコーポレートミッションと位置付け事業に取り組んでいます。

今回の資金調達は、エネコートが目指す「ペロブスカイト太陽電池で未来を創ります」というコーポレートスローガンを実現するための戦略的パートナーシップ構築と長期成長に向けた基盤づくりを目的とするものです。調達した資金は、ペロブスカイト太陽電池の量産技術開発、製造・販売にかかる社内体制の整備・拡充などに活用し、当社の事業及び経営基盤の強化を図ります。

【エネコートについて】

会社名：株式会社エネコートテクノロジーズ <https://www.enecoat.com/>

所在地：京都市上京区宮垣町 91 番地の 102

(近日中に京都府久世郡久御山町佐古外屋敷 43 番地 1 に移転予定)

代表者：代表取締役 加藤 尚哉

資本金：9,000 万円

事業内容：ペロブスカイト太陽電池 (PSCs) およびその関連材料の開発・製造・販売等

【本件に関するお問い合わせ先】

E-mail：info@enecoat.com